道退教空知

空知支部ニュース　(題字　安宅　隆氏)

2013年　10月25日　NO129

全北海道退職教職員の会空知支部

略称　道退教空知支部

〒073-0027
滝川市東滝川町4丁目16-27
松山正敏方

Tel・Fax　0125-28-2408

e-mail　em55ef@bma.biglobe.ne.jp

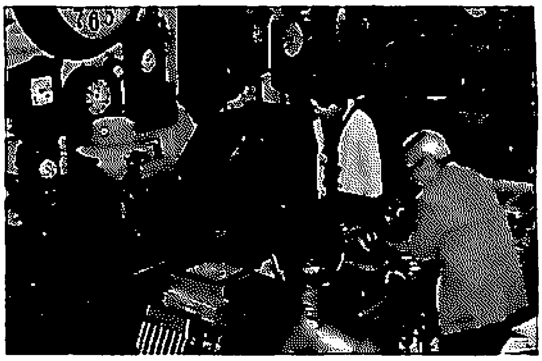
昔にタイムスリップ　19回親睦旅行

第19回親睦旅行を10月20～21日に行いました。参加者は8名と少なかったのですが、楽しく収穫の多い小旅行でした。参加者は、上記の写真前列左から手島トモ子さん、井上麗子さん、堀江満寿子さん、後列左から吉田朝雄さん、市川正也さん、大川武美さん、小川憲二さん、松山正敏さんでした。

参加者の多くが歌志内市や芦別市に思い出やかかわりがある方でした。堀江さんは思想差別事件で歌志内市に不当転勤させられ20年以上勤務された地です。小川さんは歌志内市で生まれ、お父さんが歌志内市で勤務され三浦綾子さんと同僚だったとのことです。吉田さん、井上さんも歌志内市生まれで子どものころ育った故郷です。また大川さんは歌志内市や芦別

市の中学校で勤務していた地です。昔の歌志内市や芦別市を知っている方ばかりでした。

最初に訪問した**大正館**は本城義雄さん（歌志内在住）の個人収蔵館です。展示物が名の通り大正から昭和にかけての物が所せましと展示されています。館内に一歩足を踏み入れた途端自分たちの幼少の懐かしい世界にタイムスリップしていく感じでした。



蓄音機から流れる懐かしの曲に思わず笑顔が

そこでまた新たな事実がありました。本城さんは吉田昭三さんに中学校で美術を習ったとのこと。本城さんの妻は、吉田朝雄さんと同じ学年で昔からの知り合いだったとのことでした。

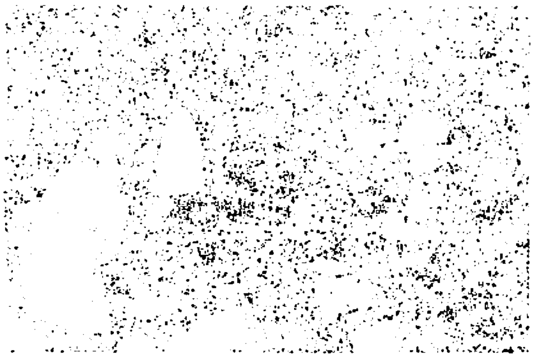
さらに本城さんは全道展会員の画家です。作品を展示している館（ぎゃらりー）も見学させていただきました。130 号や 100 号の大きな作品からデッサン、小作品などびっしり展示されていました。（右下↓）

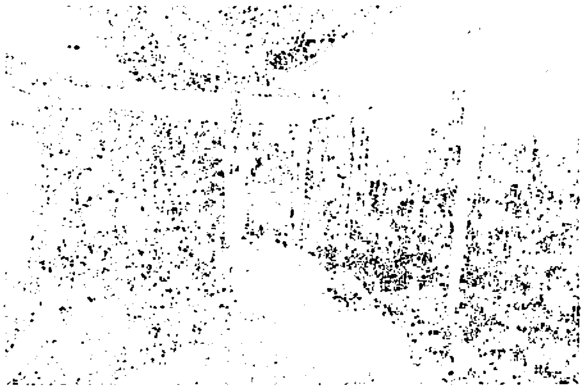
作品には、絵画で描かれている小物も作品と一緒に展示されていました。絵画を描いている手島さんは、一つ一つの作品を食い入るように細部まで鑑賞していました。油絵とは思えないほどリアルに表現され、「すごい」「本物そっくり」など驚きの言葉が漏れました。

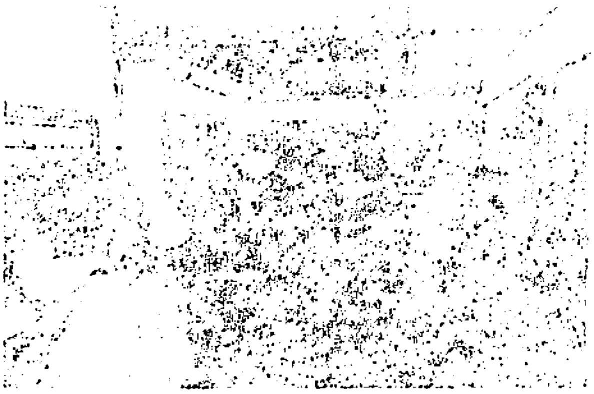
1 時間滞在の予定が 2 時間を超え、次の芦別に向かいました。**星の降る里百年記念館**は、市営の博物館です。芦別市周辺の遺跡から発見された石器時代の遺物や江戸時代に探検された当時の様子、先住民の文化、炭鉱で栄えたころの町やヤマの様子などが展示されていました。ここでも昔にタイムスリップする感じでした。過去に存在した多くの学校の校章や校名板なども展示されていました。

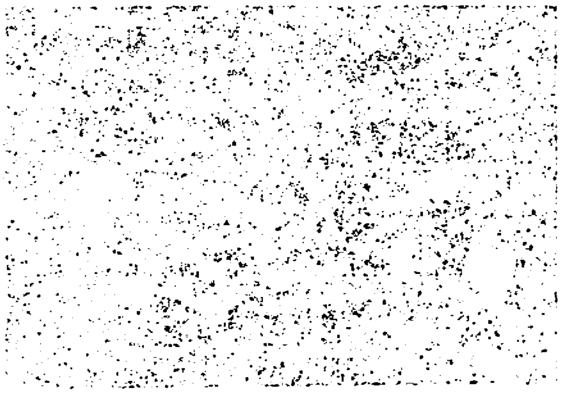
4 時過ぎ油谷温泉に向かいました。油谷の陶芸センターで会員の田中武志さんが館内を案内してくれました。センター裏で穴窯に火を入れ加熱中でその現場も見学させて頂きました。
1 週間まきを炊き続け窯の温度を 1200 度まで上げて　作品をつくるとのことでした。

陶芸センター見学後、ホテルに入り、冷えた体を









温泉でゆったり温めてから宴会を行いました。市川さんの乾杯で始まり、参加者の近況や旅行での感想など語り合い、予定の時間があっという間に過ぎてしまいました。

最後に堀江さんが「・・・道教組、道退教は不滅です。初心にかえりこれからの人生を歩んでき行きたい・・・。」との決意を込めて３つの乾杯で会をしめてくれました。

翌日は朝食の後、9時にチェックアウト。井上さんから、予定金額より支出が少なかったので返金がありました。

最後に手島さんが『楽しく、たくさん学び、思いのほか充実した旅行でした。』と感想を述べ、それぞれが紅葉を楽しみながら帰路につきました。

お知らせ

☆　教育署名が次の方々から送られてきています。

栗山（稲毛さん）から 30 筆、岩見沢（片山さん）20 筆から、滝川（梅津さん）から１０筆　ありがとうございます。

ひき続き署名を　お願いします。

☆　佐藤明彦さんが第１９回全退教ツアーin 宮城・福島に参加しました。

皆さんに報告して頂けるようお願いしています。

☆　１１月２～３日　全道合研が札幌市かでる 2-7　で開催されます。

☆　第１７回全道囲碁交流会のご案内です。

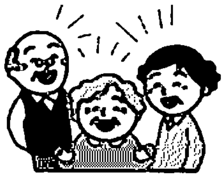
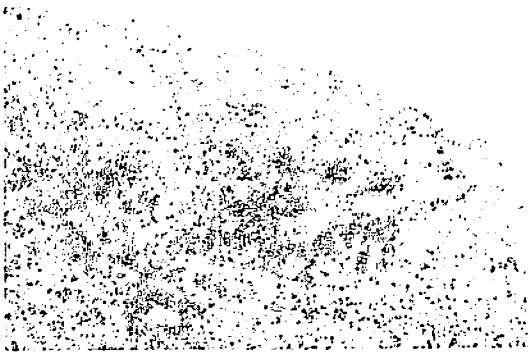
11月11日　午前１０時～　札幌市東区　区民センター　３階

申し込は、10 月 31 日まで道退教（011-742-1001）

第２回役員会の開催について

と　き　11 月 18 日（月）13 時

ところ　滝川市　総合福祉センター　４階　小会議室

内　容　道退教から活動の具体化の要請について

次期役員体制について